

平成23年度

相模原市立博物館

年報



相模原市生まれのさがぽん



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成24年4月1日

目 次

I	相模原市立博物館概要	1
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	略年	
4	平成23年度博物館重点目標	
II	管理運営	4
1	組織及び職員	(1) 組織と事務分掌 (2) 職員
2	博物館協議会	(1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況
3	施設	(1) 施設概要 (2) 施設管理
4	予算	
III	教育普及	8
1	入館者数	(1) 23年度計 (2) 総計 (3) 詳細
2	企画展等	
3	講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4	プラネタリウム・全天周映画	
5	その他	(1) 情報サービスコーナー
6	学校と博物館の連携を進める研究会	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	学習利用	
10	博物館職員の講師依頼等	
11	市民との協働	
IV	資料管理	28
1	博物館収蔵資料点数	
2	資料・収集・整理	
3	購入資料	
4	有害生物管理の実施	(1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査
5	資料の特別利用	
V	調査研究	34
VI	市史・町史編さん	35
1	相模原市史	
2	津久井町史	
VII	博物館関連施設	39
1	尾崎罌堂記館	
2	吉野宿ふじや	
3	津久井郷土資料室	
4	入館者一覧表	

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、特別展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗・地理部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7. 11. 20 神奈川第 32 号）

3 略年

年	月	事 項
昭和 5 5 年	4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年	4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年	6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年	1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年	2 月	(仮称) 相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年	6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年	3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年	1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称) 相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年	4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年	5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年	7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年	8 月	建築設計者の決定
		博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年	9 月	建築基本設計着手
平成 4 年	1 月	建設用地の取得
		展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年	2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置
		展示設計・施工者の決定
平成 4 年	5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手
		プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年	6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年	8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年	3 月	相模原市立博物館条例制定
		登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年	7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年	1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成 7 年 11 月 20 日		開館
平成 8 年	5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年	1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年	4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	（11/21 入館者数 50 万人を超える）
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	（1/18 入館者数 100 万人を超える） 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 （10/22. 入館者数 120 万人を超える）
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機はやぶさのカプセル世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	（8/28 入館者数 200 万人を超える） 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える

4 平成 23 年度 博物館 重点目標

■重点目標

より親しまれる博物館とするための事業実施と調査研究を進めます。

■重点施策

- （1）博物館ネットワーク計画を進めるため、情報の収集と発信を拡充します。
- （2）常設展示リニューアル計画を進めるため、具体的な展示手法等について検討します。
- （3）関係機関・学校や自主的に活動する市民などとの協力関係を強化します。
- （4）市史・町史の編さんを進め、「相模原市史 考古編」を刊行します。
- （5）博物館評価制度の研究を進めます。

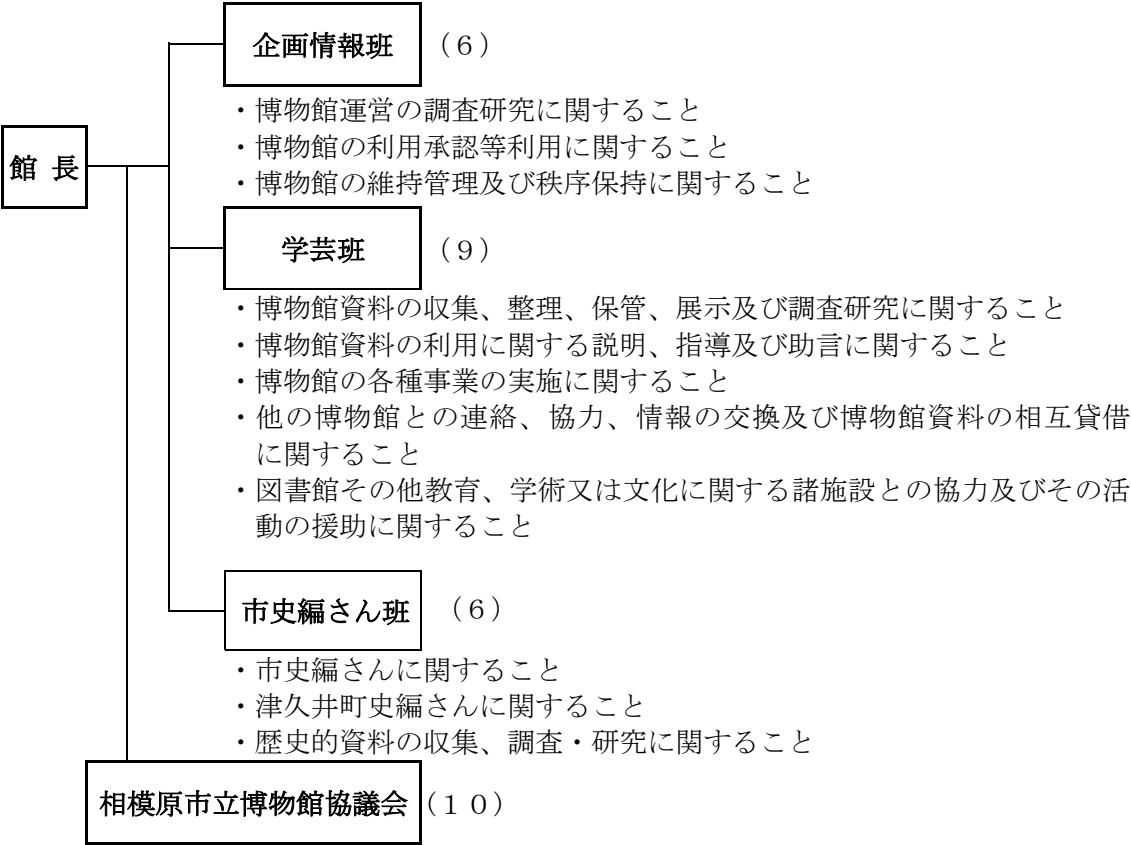
■施策の取り組み方針

- （1）施設利用者や事業参加者の視点を大切にしながら取り組みます。
- （2）安全への配慮を怠らぬよう取り組みます。
- （3）基礎的な資料の収集・整理と保存を確実に行之、その研究成果を事業に生かします。

Ⅱ 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

館長

井上 明夫

企画情報班

総括副主幹

主査

主査

主任

主任

主任(再任用)

天野 光洋

松木 悟

岡本 正明

高取 英徳

金井 理代

横山 正

学芸班

総括副主幹

指導主事

副主幹(学芸員)

主査

主査(学芸員)

主査(学芸員)

主査(学芸員)

主任(学芸員)

主任(再任用)

木村 知之

上原 徹也

土井 永好(歴史)

有本 雅之(天文)

加藤 隆志(民俗)

秋山 幸也(生物)

河尻 清和(地質)

河本 雅人(考古)

杉本 芳秋

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

館長

菊地原 恒市

企画情報班

総括副主幹

主査

主査

主査

主任(再任用)

天野 光洋

松木 悟

岡本 正明

金井 理代

横山 正

学芸班

総括副主幹

指導主事

副主幹(学芸員)

主査

主査(学芸員)

主査(学芸員)

主査(学芸員)

主任(学芸員)

主任(再任用)

木村 知之

渡邊 直展

土井 永好(歴史)

有本 雅之(天文)

加藤 隆志(民俗)

秋山 幸也(生物)

河尻 清和(地質)

正 洋樹(考古)

杉本 芳秋

市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当)	三樹 聖一	市史編さん班	担当課長(市史編さん班担当)	藤野 充
	副主幹	佐藤 洋二		副主幹	佐藤 洋二
	副主幹(町史担当)	守屋 博文		副主幹(町史担当)	守屋 博文
	主査	井上 泰		主査	井上 泰
	主任(町史担当)	草薙 由美		主査(町史担当)	草薙 由美
	主任(再任用)	加藤 康雄		主任(再任用)	加藤 康雄
非常勤特別職		学習指導員 2 名		学習指導員 2 名	
		市史編さん特別顧問 1 名		市史編さん調査員 1 名	
		市史編さん調査員 2 名			

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期 2 年

平成 21 年 11 月 20 日～平成 23 年 11 月 19 日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
坂 口 滋 皓	高等学校教諭 会長	
川 井 義 則	市文化財研究協議会会長	社会教育
田 中 美奈子	市立小中学校 P T A 連絡協議会 副会長	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青 木 雄 司	県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長	
矢 野 創	宇宙科学研究所固体惑星研究系助教	
永 田 基 浩	市民公募	
白 井 暁 彦		

平成 23 年 11 月 20 日～平成 25 年 11 月 19 日

氏 名	備 考	選出区分
加 瀬 加寿恵	小学校教諭	学校教育
山 口 文 男	高等学校教諭	
戸 塚 厚 生	市文化財研究協議会会長	社会教育
岡 井 浩 子	市立小中学校 P T A 連絡協議会	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授 会長	学識経験者
青 木 雄 司	県立宮ヶ瀬ビジターセンター館長 副会長	
矢 野 創	宇宙科学研究所固体惑星研究系助教	
金 子 信 男	市民公募	
霧 生 チェ子		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	6 月 3 0 日 (木)	当館の使命及び重点目標について
2	9 月 1 4 日 (水)	「協議事項のまとめ」について
3	2 月 8 日 (水)	会長・副会長選出 協議会の概要 今後の予定について

3 施 設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 9 9 9. 4 8 m ²
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5, 0 8 1. 0 3 m ²
オ 延床面積	9, 5 1 0. 2 4 m ²

	用 途 ・ 面 積	主 な 室	内 容
展 示・教 育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分りやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙の中のわたしたち」をテーマに、地球・太陽・恒星について理解を深められるよう展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報・ビデオコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に250席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保 管・研 究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理・加工・修理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を将来にわたって、安全・確実に保存するための収蔵庫が設置されている。
管 理・共 用	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 施設管理

施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成 23 年 5 月 26 日 (木)
平成 23 年 11 月 15 日 (火)
平成 24 年 1 月 25 日 (水)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	23年度予算額	24年度予算額	財源内訳	23年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	95	80	一般財源	95
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	235,670	257,267	一般財源	218,451
						特定財源	17,219
計				235,765	257,347		

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	95	経費内訳	23年度	24年度
		1 施設修繕料	95	80
計	95	95 計	95	80

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	8,571	経費内訳	23年度	24年度
0 4 共済費	675	1 博物館協議会経費	406	386
0 7 賃金	8,070	2 施設運営費	38,668	38,673
0 8 報償費	16,423	(1) 資料収集保存経費	5,020	4,255
0 9 旅費	1,062	(2) 資料調査研究経費	1,790	1,894
1 1 需用費	73,191	(3) 展示・教育普及事業経費	4,612	5,853
1 2 役務費	1,621	(4) プラネタリウム事業経費	26,864	26,139
1 3 委託料	116,678	(5) その他運営費	382	532
1 4 使用料及び賃借料	9,027	3 施設維持管理費	152,618	180,791
1 8 備品購入費	218	4 市史編さん事業	42,220	35,966
1 9 負担金、補助及び交付金	125	(1) 相模原市史編さん事業	32,955	12,597
2 7 公課費	9	(2) 津久井町史編さん事業	9,265	23,369
		5 一般事務費	1,758	1,451
計	235,670	計	235,670	257,267
合計	235,765	合計	235,765	257,347

Ⅲ 教育普及

1 入館者数

(1) 23 年度計 137,608 人
(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(2) 総 計 2,070,003 人
(平成 7 年 1 月 20 日～平成 24 年 3 月 31 日)
平成 23 年 8 月 28 日に入場者 200 万人を超える。

(3) 詳 細

月	入館者数	プラネ タリウ ム総数	一般 投影	全天周 映画	学習 投影	特別展	星空 観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1 日 平均
23 年 4 月	8,463	3,243	1,701	1,454	88	5,089	—	394	¥1,093,940	26	326
5 月	12,190	5,957	2,591	2,630	736	4,218	—	197	¥1,983,450	25	488
6 月	11,721	5,063	1,820	1,806	1,437	7,042	—	575	¥1,568,580	27	434
7 月	17,283	7,482	3,590	3,355	537	10,345	62	1,003	¥2,455,280	27	640
8 月	23,379	11,430	5,591	5,673	166	12,471	548	807	¥3,690,870	27	866
9 月	9,259	3,804	1,620	1,834	350	3,904	87	163	¥1,262,970	26	356
10 月	9,132	3,708	1,164	1,445	1,099	2,902	127	366	¥1,126,880	26	351
11 月	11,982	6,325	1,560	1,101	3,664	7,111	111	2,201	¥967,860	24	499
12 月	6,318	2,676	918	694	1,064	3,742	66	850	¥586,090	23	275
24 年 1 月	9,930	4,137	1,800	1,269	1,068	5,909	99	1,298	¥1,106,850	24	414
2 月	8,387	3,540	972	1,015	1,553	4,737	147	1,317	¥749,330	25	335
3 月	9,564	4,283	1,560	1,823	900	3,246	36	267	¥1,188,760	26	368
23 年度計	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450

※ (参考) 開館からの総計

7 年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8 年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9 年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10 年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11 年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12 年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13 年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14 年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15 年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16 年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17 年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18 年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19 年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20 年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21 年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22 年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23 年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
総 計	2,070,003	891,237	331,592	381,264	178,381	837,862	17,726	101,301	¥244,460,520	4,934	420

2 企画展等

(1) 通年展示「津久井の自然と文化」

- ア 内 容 特別展示室の一部を使い津久井地域を中心とした展示を通年をとおして行う。また、相模原市史および津久井町史の状況や成果、「さがみはらどこでも博物館」の成果である「発見のこみち 勝坂」を紹介するとともに、各種調査会の調査成果なども併せて展示するコーナーを設けた。
- イ 期 間 4月1日（金）～5月8日（日） * 22年度から継続
- ウ 観覧料 無料
- エ 構 成 ①相模原市史・津久井町史紹介コーナー
 ②さがみはらどこでも博物館「発見のこみち勝坂」紹介コーナー
 ③市民活動紹介コーナー
 ④津久井地域の自然
 （地質）関東山地と丹沢山地の地質
 （生物）津久井地域の生物
 ⑤津久井地域の歴史と文化
 （考古）津久井の原始・古代遺跡
 （歴史）地図にみる津久井の姿
 （民俗）津久井の祭礼と行事

(2) 春季企画展「相模原市遺跡発掘調査成果展」

- ア 内 容 過去およそ10年間の市内遺跡に関する様々な調査成果に加え、直近に行われた発掘調査の成果を速報的に提示し、考古学による歴史解明のための新たな視点を模索する。発掘調査成果を市民に還元することにより、埋蔵文化財保護や発掘調査に対する市民の理解と協力を促進することを目的とした。
- イ 期 間 3月20日（日）～5月8日（日）
- ウ 共 催 文化財保護課
- エ 協 力 (財)神奈川県公園協会
- オ 観覧料 無料
- カ 観覧者 7,986人（4月1日～5月8日、23年度のみ）
- キ 関連事業
- | | | |
|----------|---------------------------|------|
| 4月 3日（日） | 展示解説 | 14人 |
| 4月10日（日） | 縄文体験教室第2回「土器づくり」 | 17人 |
| 4月16日（土） | 一日考古学体験 参加者 | 9人 |
| 4月17日（日） | 考古の日「さがみはら遺跡リレートーク」 | 102人 |
| 4月24日（日） | 展示解説 | 20人 |
| 5月 1日（日） | 縄文体験教室第3回「火おこし・土器焼き・弓矢体験」 | 16人 |
| 5月 8日（日） | 展示解説 | 25人 |

(3) はやぶさ地球帰還1周年記念企画展「宇宙とつながる私たち～探査機に託したメッセージ～」

- ア 内 容 私たちは地球を離れて遠い宇宙に旅立つ探査機にいったい何を託したのか。「はやぶさ」の地球帰還1周年を迎えるにあたり、研究の成果や最先端の技術ではなく、あえて社会との接点に着目して、これまでの太陽系探査を振り返った。
- イ 期 間 5月28日（土）から8月17日（水）まで
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 構成 ①メッセージを載せた探査機たち

②思いを込めて

③人事を尽くして

④称える

⑤社会現象

カ 観覧者 26,369人

キ 関連事業

6月13日(月)

はやぶさ地球帰還1周年記念特別上映 参加者:210人

講師:上坂 浩光 氏(有限会社ライブ代表取締役・「HAYABUSA
BACK TO THE EARTH」監督)

6月13日(月)～7月18日(月)

全天周映画HAYABUSA絵コンテ特別展示

6月13日(月)、7月29日(金)～8月7日(日)

はやぶさカプセルレプリカ展示

展示協力:株式会社島精機製作所(和歌山市)

7月15日(金)～8月17日(水)

池下章裕「リアル・スペース・アート展」

7月24日(日)

講演会「あかつき飛行中:金星との再会をめざして」

講師:JAXA宇宙科学研究所教授 佐藤 毅彦 氏

7月30日(土)

池下章裕「リアル・スペース・アート展」トークライブ

(4) 2011 市民平和のつどい『ヒロシマ原爆展 / 江成常夫写真展～ヒロシマ万象～』

ア 内容 「2011 市民平和のつどい」として広島平和記念資料館所蔵の資料等及び
江成常夫氏から寄贈された写真約30点を展示した。

イ 期間 8月25日(木)から8月31日(水)まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 構成 ①「ヒロシマ原爆展」

- ・被爆資料(実物資料)の展示。
- ・原爆被災写真等のパネルの展示
- ・平和関連図書コーナー
- ・ビデオ上映コーナー
- ・折鶴作成コーナー、
- ・平和へのメッセージ作成コーナー

②「江成常夫写真展～ヒロシマ万象～」

写真家江成常夫氏から市へ寄贈された作品の展示

カ 観覧者 5,100人

キ 関連事業

8月28日(日) 被爆体験者講話と江成常夫氏講演会 参加者:300人

①被爆体験者の講話 話者:相模原市原爆被爆者の会(久保ヨシミ氏、
村田良成氏、植村キヨミ氏)、広島平和文化センター(松本都美子氏)

②講演「レンズに映ったヒロシマ」 講師:江成常夫氏

ク その他 市教育委員会後援事業として開催

主催:相模原市、広島市、(公財)広島平和文化センター・平和記念資料館

主管:市民平和のつどい実行委員会

(5) 博物館実習生制作展

- ア 内 容 博物館実習における実務実習の一環として展示制作を行い、実習生が企画・資料研究・パネル制作・列品までを体験した。
- イ 期 間 9月10日(土)～10月16日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 ホームページ
- オ 観覧者 6,806人

(6) 収蔵品展「津久井郷土資料室所蔵資料紹介～市民の力で博物館資料へ～」

- ア 内 容 津久井郷土資料室が保管する膨大な資料のうち、相模湖や観光、国勢調査、陪審員、東京オリンピックなどに関わる資料を展示した
- イ 期 間 11月1日(火)～平成24年2月26日(日) *12月26～28日は展示替えのため閉室。
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 ホームページ他
- オ 観覧者 21,281人(「学習資料展」と同時開催)

(7) 学習資料展「大地さんと未来さんが見つける ちょっと昔のくらしⅧ
～くらしと道具のうつりかわり～」

- ア 内 容 収蔵されている生活資料を中心に展示し、電化以前・以後のくらしと道具の変化について考える機会とした。
- イ 期 間 11月1日(火)～平成24年2月26日(日)
- ウ 観覧料 無料
- エ 広 報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ
- オ 観覧者 21,499人
- カ 関連事業 参加者総数: 4,281人

①展示室デモンストレーション&チャレンジ体験コーナー(指導:市民学芸員)

市民学芸員提供の昔の生活道具を実際に見て、触れ、使いながら現在との比較を楽しく体験した。(10:00～16:00)

11月 6日(日)	展示室デモ	参加者:298人
11月13日(日)	展示室デモ&チャレンジ体験	参加者:416人
11月20日(日)	展示室デモ	参加者:183人
11月23日(水・祝)	展示室デモ	参加者:278人
11月27日(日)	展示室デモ	参加者:203人
12月 4日(日)	展示室デモ	参加者:196人
12月11日(日)	展示室デモ&チャレンジ体験	参加者:153人
12月18日(日)	展示室デモ	参加者:144人
12月25日(日)	展示室デモ	参加者:138人
1月 8日(日)	展示室デモ&チャレンジ体験	参加者:251人
1月15日(日)	展示室デモ	参加者:264人
1月22日(日)	展示室デモ&チャレンジ体験	参加者:312人
1月29日(日)	展示室デモ	参加者:251人
2月 5日(日)	展示室デモ	参加者:232人
2月11日(土・祝)	展示室デモ&チャレンジ体験	参加者:147人
2月12日(日)	展示室デモ	参加者:204人
2月19日(日)	展示室デモ	参加者:305人
2月26日(日)	展示室デモ	参加者:276人

②展示解説（解説：担当学芸員）

1 1 月 1 3 日（日）	参加者： 6 人
1 2 月 1 1 日（日）	参加者： 1 人
1 月 2 2 日（日）	参加者： 1 7 人
2 月 1 1 日（日）	参加者： 6 人

（8）春季企画展「田名塩田遺跡群とその時代」同時開催「速報展示 さがみはら発掘最新情報」

ア 内 容 田名塩田地区の区画整理事業に伴って調査された田名塩田遺跡群と、その周辺遺跡を取り上げ、市内有数の遺跡密集地である同地の歴史を探るための展示を行った。また、同時開催として近年発掘調査された市内の他遺跡を紹介し、郷土の歴史を学び、発掘調査に関する市民の理解と協力を促進する機会に資する展示を行った。

イ 期 間 3 月 1 7 日（土）～5 月 6 日（日）

ウ 共 催 文化財保護課

エ 観覧料 無料

オ 観覧者 3, 2 4 6 人（3 月 1 7 日～3 1 日、1 0 日間のみ）

カ 関連事業

3 月 2 0 日（火） 展示解説 参加者 3 7 人

3 月 2 5 日（日） 「博物館収蔵庫見学ツアー」全 4 回 参加者 7 3 人

（以下 2 4 年度予定）

4 月 1 5 日（日） 展示解説

4 月 2 2 日（日） 「田名向原・当麻地区の遺跡を歩こう！」 参加者 3 7 名

5 月 6 日（日） 展示解説

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

（1）博物館の日

ア 内 容 毎月第 4 日曜日を博物館の日として各分野の体験や講演会を実施した。

イ 実施日 5 月 2 9 日（日）～2 月 1 9 日（日）全 1 0 回

ウ 参加者総数：延べ 1, 5 7 8 人

エ 内容・参加者・講師

5 月 2 9 日 第 2 回民俗講演会「相模原の神楽と獅子舞」 参加者：6 4 人

講 師 久保田裕道氏（相模原市史民俗編調査執筆員）

* 民俗講座「市史民俗編を読む（展開編）」の公開講座

6 月 2 6 日 第 3 回地質の日「火山灰を顕微鏡で見よう」 参加者：1 6 4 人

講 師 当館学芸員、相模原地質研究会会員

7 月 2 4 日 講演会「あかつき飛行中：金星との再会をめざして」 参加者：7 5 人

講 師 J A X A 宇宙科学研究所教授 佐藤 毅彦 氏

8 月 2 6 日～2 7 日 博物館クイズラリー 参加者：5 8 9 人

案 内 市民学芸員

9 月 2 4 日 市史講演会「相模原の占領と米軍基地の成り立ち」 参加者：1 1 1 人

講 師 羽田博昭（現代通史編調査執筆員）

1 0 月 2 3 日 第 7 回地質の日「いろいろな砂を顕微鏡で見よう」 参加者：1 4 5 人

講 師 当館学芸員、相模原地質研究会会員

1 1 月 2 7 日 第 8 回歴史の日講演会「北里柴三郎博士のフロンティアスピリット」

- 参加者： 59人
講 師 森 孝之氏（学北里研究所北里柴三郎記念室次長・医学博士）
1 2 月 2 5 日 植物の日ワークショップ「葉っぱでカレンダーをデコレーションしよう」 参加者：74人
講 師 当館学芸員、相模原植物調査会会員
1 月 2 9 日 第10回民俗の日「繭うさぎ作り」 参加者：193人
講 師 市民学芸員
2 月 1 9 日 第11回歴史講演会「神奈川道と相模川水運 参加者：104人
—江戸時代の小麦・塩・薪炭の流通を巡って—
講 師 西川武臣氏（横浜開港資料館副館長）

（2）天文展示室展示解説

- ア 内 容 リニューアルした天文展示室の展示解説を行った。
イ 実施日 4月23日（土）
ウ 参加者 10人
エ 対 応 当館指導主事、天文担当職員

（3）ユーリーズナイト

- ア 内 容 ユーリイ・ガガーリンが、人類初の宇宙飛行を行ってから50周年を記念して講演会等を開催した。
イ 実施日 4月23日（土）
ウ 参加者 125人
エ 講 師 的川泰宣氏（JAXA名誉教授）、鳥嶋真也氏、大貫剛氏、松浦晋也氏、高木俊暢氏（JAXA 宇宙科学研究所）

（4）民俗講座「市史民俗編を読む」（展開編）

- ア 内 容 市史民俗編を読む入門編参加者を元に「市史を読む会」を組織し、展開編として月1回ペースでさらに細かい内容について確認していく。民俗講演会を組み込みながら実施。
イ 実施日 4月24日（日）～7月3日（日） 全4回（*22年度からの継続。全体の開会回数は全11回）
ウ 参加者 延べ 161人（23年度の参加者数）
エ 講 師 加藤隆志（当館学芸員）他

（5）博物館のまわりのミニ観察会

- ア 内 容 博物館周辺で身近な動植物を観察する。
イ 実施日 5月14日（土）～3月24日（土）全13回
ウ 参加者 延べ109人
エ 講 師 当館学芸員

（6）地質学講座「丹沢衝突-石老山と陣馬山周辺の地質-」

- ア 内 容 石老山礫岩は、丹沢が本州に衝突する直前に本州との間に存在した浅い海溝を埋めた堆積物が元になっており、丹沢の衝突過程を推定する上で重要な鍵を握る地層である。海溝を埋めて堆積した石老山礫岩と丹沢に衝突された側で見られる地層（小仏層群）の特徴と重要性を解説し理解を深めた。
イ 実施日 5月8日（日）～6月5日（日） 全4回
ウ 参加者 延べ 109人
エ 講 師 河尻清和（当館学芸員）

(7) 古川宇宙飛行士 I S S 入室パブリックビューイング

- ア 内 容 古川聡宇宙飛行士の I S S 入室に合わせてエントランスホールでパブリックビューイングを開催した。
- イ 実施日 6 月 1 0 日 (金)
- ウ 参加者 1 5 人
- エ 対 応 天文担当職員

(8) 夏休み子ども学習相談

- ア 内 容 小中学生を対象に夏の自由研究などのアドバイスをした。
- イ 実施日 7 月 1 7 日 (日) ～ 8 月 3 1 日 (水)
- ウ 参加者 延べ 4 9 人 (3 2 件)
- エ 講 師 当館指導主事、学芸員、学習指導員

(9) スターウォッチング

- ア 内 容 星空を一定の条件下で観察することにより、夜間照明などの環境について目を向けるとともに広く地球規模での環境保全の対策を市民と共に考えた。
- イ 実施日 7 月 2 3 日 (土)、1 月 2 1 日 (土)
- ウ 参加者 延べ 2 7 人
- エ 対 応 天文担当職員、プラネタリウム解説員
- オ 協 力 相模原の環境をよくする会 (事務局：市環境対策課)

(10) 小中学生のための生物学教室

- ア 内 容 学校の授業よりも一段階レベルの高い本格的な生物学の実習を体験させることにより、科学への視野を広げることを目的とした。
- イ 実施日 7 月 2 4 日 (日)
- ウ 参加者 1 7 人
- エ 講 師 当館学芸員

(11) J A X A 特別公開関連事業

- ア 内 容 J A X A 相模原キャンパス特別公開日に、ミニミニ宇宙学校、映像によるメッセージ「我々が宇宙人」の開催と、プラネタリウムでは番組「はやぶさのその先へ」、全天周映画 H A Y A B U S A BACK TO THE EARTH を各 2 回 (／日) 上映した。
- イ 実施日 7 月 2 9 日 (金)、3 0 日 (土)
- ウ 参加者 延べ 1, 9 4 4 人
- エ 対 応 J A X A 職員

(12) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内 容 実験や観察を通して結晶成長や結晶形、硬度など、鉱物についての初歩を学習し、鉱物への興味を深めた。
- イ 実施日 7 月 3 1 日 (日)、8 月 7 日 (日) 全 2 回
- ウ 参加者 延べ 6 0 人
- エ 講 師 河尻清和 (当館学芸員)、相模原地質研究会会員

(13) 「宇宙のまち、相模原」スペースツアー

- ア 内 容 宇宙食体験、望遠鏡製作、水ロケット制作・試射等、宇宙にまつわる様々な体験を通じて、子供たちに宇宙への夢とロマンを育み、心の豊かさを醸成した。
- イ 実施日 8 月 6 日 (土)

- ウ 参加者総数：76人
- エ 講師・指導 JAXA宇宙科学研究所教授 阪本成一氏、JAXA宇宙科学研究所准教授 岩田隆浩氏、相模原青年会議所
- オ 共催 相模原青年会議所・相模原市都市整備公社

(14) 大日野原遺跡発掘調査現地見学会

- ア 内容 平成20年度から中央大学と共同で緑区沢井大日野原遺跡の学術発掘調査を実施している。今年度の発掘調査期間（7月29～8月13日）にあわせ、広く市民に調査成果を公表するため、発掘調査の現地説明会を実施した。
- イ 実施日 8月12日（金）
- ウ 参加者 50人
- エ 講師 小林謙一氏（中央大学准教授）、現地調査員、当館学芸員

(15) 博物館クイズラリー

- ア 内容 自然・歴史及び天文常設展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 8月27日（土）、8月28日（日） 全2回
- ウ 参加者 延べ 589人
- エ 案内 市民学芸員

(16) 日本惑星科学会一般講演会

- ア 内容 「太陽系起源物質とはやぶさリータンサンプルの初期分析」「宇宙に生命を探す」と題した講演会を開催した。
- イ 実施日 10月22日（土）
- ウ 参加者 67人
- エ 講師 土山 明さん（大阪大学大学院教授）、関根康人さん（東京大学大学院講師）

(17) 天文教室

- ア 内容 天体望遠鏡の操作とデジタルカメラでの天体撮影、パソコンで画像処理する技術を学んだ。併せて教室終了後に受講生の有志により天文ボランティアを結成した。
- イ 実施日 10月29日（土）～12月17日（土） 全6回
- ウ 参加者 延べ82人
- エ 講師 遠山御幸氏（プラネタリウム解説員）、天文担当職員

(18) 学びの収穫祭

開館記念事業の一つとして、博物館を拠点に活動するボランティアグループや、学芸員が関わっている中学や高校の部活動などが、日ごろの活動の成果を発表した。また、プラネタリウムドームを用いて地質の講演会を開催した。

- ア 実施日 11月19日（土）、20日（日）
- イ 参加者 延べ 225人

(19) 入館者200万人達成記念プラネタリウムコンサート『ジャズの調べと月と星』

- ア 内容 入館者200万人達成を記念し、プラネタリウムコンサートを実施した。
- イ 実施日 11月19日（土） 2回講演
- ウ 参加者 延べ 375人
- エ 出演 SHOBI JAZZ ORCHESTRA

(20) プラネタリウム講演会「下を向いて歩こう～津久井の地形と地質の魅力」

- ア 内 容 「学びの収穫祭」関連事業として、プラネタリウムのドームスクリーンを活用して、地質分野の講演会を行った。
- イ 実施日 11月20日(日)
- ウ 参加者 57人
- エ 講 師 河尻清和(当館学芸員)

(21) ミニ講演会「マトガワ先生、イトカワを語る」

- ア 内 容 小惑星探査機はやぶさプロジェクトなどについての講演会を開催した。
- イ 実施日 10月25日(火)
- ウ 参加者 134人
- エ 講 師 的川泰宣氏(JAXA名誉教授)
- オ その他 相模原市教育委員会後援事業として開催 主催 神奈川新聞社

(22) 「宇宙の日」作文絵画コンテスト

- ア 内 容 自然科学への関心を高める機会として、青少年を対象に、「宇宙を利用して未来の〇〇」をテーマとした絵画や作文を公募・審査した。(文部科学省ほかが主催する「宇宙の日」作文絵画コンテストに参加)
また、当館応募作品予備受賞作品を展示、公開した。
- イ 期 間 公募：4月8日(金)～7月31日(日)
展示：12月1日(木)～12月27日(火)
- ウ 応募者 作文13人、絵画136人

(23) 皆既月食直前ガイド

- ア 内 容 講演「月食のお話」と冬の星空観望会(4グループ各20分)を行った。
- イ 実施日 12月10日(土)
- ウ 参加者 延べ 115人
- エ 講 師 JAXA宇宙科学研究所教授 阪本成一氏

(24) 博物館で学ぶ高校生物学講座

- ア 内 容 大人になってから改めて高校レベルの生物学を学びたい人や、一足先に高校生物学を学びたい小中学生向けに実際の授業に近い講義を行った。
- イ 実施日 2月18日(土)～3月10日(土) 全4回
- ウ 参加者 延べ 74人
- エ 講 師 谷川明男氏(東京大学)、木場英久氏(桜美林大学)、当館学芸員

(25) 星空観望会

- ア 内 容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
※ 東日本大震災後、4～6月の3ヶ月間休止した。
※ 開催回数を月2回(8月のみ4回)、当日受付先着120人の定員として7月から再開した。
- イ 実施日 金曜日、土曜日
- ウ 参加者 延べ 1,283人(18回実施)
- エ 対 応 当館職員、プラネタリウム解説員、市民学芸員

(26) 市史講演会

- ア 内 容 相模原市史編さん事業に関連する内容で講演を行った。
- イ 実施日 7月9日(土) 参加者総数102人
- ウ 演題・講師 「日本歴史の中の相模原ー津久井地域(3)ー」

神崎彰利（市史編さん特別顧問）

エ 実施日 9月24日（土） 参加者総数 111 人
オ 演題・講師 「相模原の占領と米軍基地の成り立ち」
羽田博昭（現代通史編調査執筆者）

カ 実施日 3月24日（土） 参加者総数 82 人
キ 演題・講師 「日本歴史の中の相模原―津久井地域(4)―」
神崎彰利（市史編さん特別顧問）

4 プラネタリウム・全天周映画

（1）平成 23 年度観覧者合計 61,648 人

（2）一般投影（プラネタリウム）

ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約 40 分）
イ 番 組 「スペースミュージアムへようこそ
～ハッブル宇宙望遠鏡の見た宇宙～」

4月1日（金）～5月27日（金）
「はやぶさのその先へ～太陽系大航海時代～」
5月28日（土）～7月31日（日）
「四季のふしぎ～夏・秋 編～」
8月2日（火）～9月30日（金）
「人類は火星をめざす～有人宇宙飛行 50 周年～」
10月1日（土）～11月30日（水）
「2012 年の華麗なる天体ショー」
12月1日（木）～平成 24 年 1 月 31 日（火）
「四季のふしぎ～冬・春 編～」
2月1日（水）～3月31日（土）

ウ 開始時間 平日、土・日・祝日・特別上映期間…午後 2 時 40 分（※）
※5月27日（金）までは午後 2 時 30 分
※6月13日（月）のみ「はやぶさのその先へ」を午前 1
1時から投影した。

エ 観覧者 16,952 人

（3）一般投影（こどもプラネタリウム） ※新規※

ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約 40 分）
※ 親子で一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、
平成 23 年度から新規に投影を開始した。

イ 番 組 「おしえて！さがぼん お月さまってなあに？」
4月1日（金）～12月27日（火）
※7月29日（金）、30日（土）を除く
「おしえて！さがぼん 宇宙のおしごと」
平成 24 年 1 月 4 日（水）～〔9月2日（日）まで投影予定〕

ウ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間…午前 11 時

エ 観覧者 7,935 人

(4) 全天周映画

- ア 内 容 大型映像の全天周映画作品を上映
- イ 番 組 ①「銀河鉄道の夜」(所要約 35 分)
〔平成 21 年 7 月 11 日(土)〕～通年
②「HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョン・ディレクターズカット」(所要約 45 分)
〔平成 23 年 1 月 8 日(土)〕～通年
- ウ 開始時間 ①土・日・祝日・特別上映期間…午後 3 時 50 分(※)
②平日…午後 3 時 50 分(※)
土・日・祝日・特別上映期間…午後 1 時 30 分
※5 月 27 日(金)までは午後 3 時 30 分
- エ 観覧者 24,099 人

(5) 学習投影

- ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番 組 小中学校向け「月の形と動き」
「星の動き(夏/冬)」
「空を見上げると(夏/冬)」
「太陽と惑星」
「太陽系の仲間たち」
「月の形と動き」
幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」
「ピーターパンのぼうけん」
「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」
「おしえて!さがぼん お月さまってなあに?」**※新規※**
「おしえて!さがぼん 宇宙のおしごと」**※新規※**
- ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前 1 回、午後 1 回(最大)投影
- エ 観覧者 12,662 人

(6) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・パンフレットを作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計 217 回
DVD ライブラリー作品年間視聴回数	計 743 回
CD-ROM 文庫のソフト年間閲覧回数	計 13 回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成 任期 2 年（平成 22 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

氏 名	備 考
笠 井 正 元	共和中学校総括教諭 委員長
大神田 由香里	宮上小学校総括教諭 副委員長
田 中 穰 一	田名北小学校教諭
武 田 直 行	中野小学校教諭
長 友 広 成	大沢小学校教諭
有 働 裕美子	共和小学校教諭
小 山 賢	旭中学校教諭
今 井 正 巳	緑が丘中学校教諭

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7 月 1 日（金）	「博物館貸し出しキット」について 各研究員からの提案 個人またはグループでの活動内容の決定、担当学芸員の確認 天文展览展示室見学（4 月リニューアルオープン） はやぶさ帰還 1 周年企画展見学
2	10 月 20 日（木）	「博物館貸し出しキット」について 進捗状況の報告（グループ別） 貸し出しの手順、申請書の書式の検討
3	2 月 17 日（金）	「博物館貸し出しキット」について 第 7 期貸し出しキットについての、各委員による作成成果の報告。 第 8 期のテーマについての検討

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・パンフレット等

(2) 有償刊行物一覧（平成 24 年 3 月 31 日現在）

博物館と市役所行政資料コーナー等で販売

売上総計 196,130 円

書 名	販売価格	発行 年月	売上 冊数
-----	------	----------	----------

①博物館

図録・報告書等売上
9,730 円

ア、特別展・企画展図録等

郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	7 11	完売
江南の至宝	¥1,300	8 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	8 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	8 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	9 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	9 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	10 9	完売

平成 23 年度相模原市立博物館年報

水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	11	7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	11	10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	12	7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	12	10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	13	7	1
”道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	13	10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	14	7	0
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	15	7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	16	7	0
相模原－その開発と変貌－	¥800	16	10	6
地球 46 億年	¥900	17	7	0
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	18	10	完売
イ、報告書等				
研究報告第 7 集 1999	¥850	10	3	完売
研究報告第 8 集 2000	¥850	11	3	完売
研究報告第 9 集 2001	¥900	12	3	完売
研究報告第 10 集 2002	¥900	13	3	完売
研究報告第 11 集 2002	¥850	14	3	完売
研究報告第 12 集 2003	¥900	15	3	0
研究報告第 13 集 2004	¥900	16	3	0
研究報告第 14 集 2005	¥900	17	3	0
研究報告第 15 集 2006	¥1,050	18	3	0
研究報告第 16 集 2007	¥1,150	19	3	0
研究報告第 17 集 2008	¥1,150	20	3	0
研究報告第 18 集 2009	¥700	21	3	0
研究報告第 19 集 2010	配布のみ	22	3	在庫なし
研究報告第 20 集 2012	配布のみ	24	3	在庫なし
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	10	3	完売
地図資料目録Ⅰ 相模原市作成の地図	¥1,000	11	3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	12	3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	13	3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	14	3	1
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	15	3	1
資料目録 5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	15	3	0
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	17	3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	17	3	1
境川流域民俗調査報告書	¥500	17	3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	20	3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた！！	¥180	21	5	1
ウ、展示解説書				
常設展示解説書	¥1,000	8	11	0

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店共同組合加盟店で委託販売
市史・町史計 800,950 円

ア、相模原市史

相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S39.11	3
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S42. 3	5
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S44. 2	2
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S46. 3	2
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S40.11	2
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S43. 2	1
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S47. 3	0
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H16.11	32
相模原市史 現代資料編	¥3,700	20. 3	6
相模原市史 自然編	¥3,400	21. 5	36
相模原市史 民俗編	¥2,550	22. 3	23
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	22. 3	10
相模原市史 現代通史編	¥2,100	23. 3	34
相模原市史ノート創刊号	¥ 350	16. 3	4
相模原市史ノート第 2 号	¥ 700	17. 3	2
相模原市史ノート第 3 号	¥ 600	18. 3	2
相模原市史ノート第 4 号	¥ 600	19. 3	2
相模原市史ノート第 5 号	¥ 600	20. 3	3
相模原市史ノート第 6 号	¥ 700	21. 3	5
相模原市史ノート第 7 号	¥ 700	22. 3	5
相模原市史ノート第 8 号	¥ 650	23. 3	13
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	19. 3	4
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	21. 3	2
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去 8 万年間の気候植生変化	¥1,500	21. 3	11
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ (火山灰)	¥2,300	21. 3	9
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	21. 3	6
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	22. 3	14
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	23. 3	6

イ、城山町史

城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	4. 3	3
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	2. 3	1
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	5. 3	1
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S63. 3	3
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7. 3	1
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	9. 3	3
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	9. 3	2
城山風土記 1 近現代編	¥ 600	3. 3	3
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥ 700	6. 3	5
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥ 600	7. 3	2
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥ 600	8. 8	9
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥ 600	9. 3	9
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S60. 3	2
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S61.12	2

城山町史新聞記事目録	¥1,200	S62. 3	1
町史の窓（復刻版）	¥1,100	H18. 3	3

ウ、津久井町史

津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	16. 3	4
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	19. 3	9
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	21. 2	5
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	23. 3	15
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	12. 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	13. 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号（特別号） 津久井の古地図	¥1,000	14. 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	15. 9	完売
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	16. 3	7
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	20. 3	5
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	22. 3	0
津久井町史資料叢書 1 事務報告 1	¥1,850	22. 3	0
津久井町史資料叢書 2 事務報告 2	¥1,850	22. 3	0

エ、相模湖町史

相模湖町史 歴史編	¥14,000	13. 3	2
相模湖町史 民俗編	¥ 5,600	19. 2	3
相模湖町史 自然編	¥11,550	20. 2	2

オ、藤野町史

藤野町史 資料編上	¥3,000	6. 3	1
藤野町史 資料編下	¥3,000	6. 3	0
藤野町史 通史編	¥4,000	7. 3	2
ふじの町史 研究誌（第 1 号）	¥ 600	2. 11	1
ふじの町史 研究誌（第 2 号）			完売
ふじの町史 研究誌（第 3 号）	¥ 600	5. 3	4
ふじの町史 研究誌（第 4 号）		6. 2	完売
ふじの町史 研究誌（第 5 号）	¥ 600	8. 3	1

（３）他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

J-COM、FMさがみ、ショッパーなど博物館を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格習得のための実習として、8月2日～9月14日の内実質8日間に17人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数
考古	青山学院大学	1	生物	創価大学	1
	日本女子大学	1		東京農業大学	2
	中央大学	1	地質	東京造形大学	1
歴史	立正大学	1		日本大学	1
	青山学院大学	1		専修大学	1
	中央大学	1			
	学習院大学	1			
民俗	日本女子大学	1			
	清泉女子大学	1			
	東京造形大学	1			
	東京学芸大学	1			

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職業体験等）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	2	334	8月	2	51	12月	14	1,236
5月	12	830	9月	8	561	1月	22	1,665
6月	29	1,819	10月	14	1,141	2月	31	1,901
7月	16	717	11月	38	3,993	3月	18	1,101
年計							206	15,348

10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。（これに類するものも記載） 56件

	演題等	依頼者	月 日	場 所	担 当
1	自然体験教室活動研修	藤野体験の森やませみ	4月13日（水）	沢井地区	秋山幸也
2	自然環境論「神奈川県 自然環境の特徴」	慶應義塾大学環境情報学部	6月2日（木）	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス	秋山幸也
3	エンジョイつくい～つくい 歴史ウォーキング～	市立津久井中央公民館	6月5日（日）	青山	井上泰
4	民俗フィールドワーク入門 「地域の石仏に見る民間信	大磯町郷土資料館	6月12日（日）	大磯町郷土資料館	加藤隆志

平成 23 年度相模原市立博物館年報

	仰」				
5	中庭に生育している自然の植物を使った体験学習	市立弥栄小学校	6月21日(火)	弥栄小学校	秋山幸也
6	神沢河原の学習	桂川・相模川流域協議会	6月26日(日)	神沢河原	秋山幸也
7	P T A親子講習会「望遠鏡の作成」	市立大沼小学校	7月9日(土)	大沼小学校	上原徹也
8	星空観望会	市立田名北小学校	7月12日(火)	田名北小学校	上原徹也
9	「地元学大野台」	市立大野台公民館	7月13日(水)	大野台公民館	河尻清和
10	星空観察会	藤野中央公民館	7月22日(金)	沢井公民館・一の尾	有本雅之
11	「東日本大震災を考える」～相模原市と友好関係にある大船渡市の被害実態と求められる支援とは～	市立上鶴間公民館	7月28日(木)	上鶴間公民館	秋山幸也
12	「夏の星空観察会」	市立横山公民館	8月3日(水)	横山公民館	有本雅之
13	大和市教育研究所小中学校理科研修	大和市教育研究所	8月4日(木)	博物館	上原徹也
14	環境フィールドワーク	県立相模原清陵高校	8月5日(金)	鶴野森・陽光台	河尻清和
15	青根地域イベント星空観望コーナー	青根地域センター	8月6日(土)	青根地域センター	上原徹也
16	小学校理科基礎技能研修	総合学習センター	8月9日(火)	博物館	上原徹也
17	津久井観光センター建設関係書類の調査	市津久井経済観光課	8月12日(金)	神奈川県立公文書館	井上泰
18	浅川及び多摩川河床礫の岩石剥片作成	東京都立日野高校	8月18日(木)	博物館実習実験室	河尻清和
19	浅川及び多摩川河床礫の岩石剥片作成と偏光顕微鏡観察	東京都立日野高校	8月19日(金)	博物館実習実験室	河尻清和
20	相模原教職員初任者研修	総合学習センター	8月19日(金)	博物館	上原徹也
21	「防災講話」	市立大野南中学校	9月1日(木)	大野南中学校	秋山幸也
22	「かんきょう学習セミナー」	市立環境情報センター	9月4日(日)	環境情報センター	守屋博文
23	「鳥類の観察」	市立くぬぎ台小学校	9月6日(火)	くぬぎ台小学校	秋山幸也
24	津久井地域の歴史について	相武歴史研究会	9月14日(水)	上鶴間公民館	井上泰
25	カイコのはなし	市立相模台小学校	9月16日(金)	相模台小	秋山幸也

平成 23 年度相模原市立博物館年報

				学校	
26	大船渡市における東日本大震災被災地支援報告	湘南地球科学の会	9 月 17 日 (土)	博物館	秋山幸也
27	地域のあゆみに学ぶ：明治期から戦前・戦後における東林地区（大野地区）のあゆみについて	市立東林公民館	9 月 21 日 (水)	東 林 公 民 館	土井永好
28	「相模原の養蚕について」	市立淵野辺小学校	9 月 21 日 (水)	淵 野 辺 小 学 校	加藤隆志
29	自然教室「陣馬山で秋の草花を楽しもう」	神奈川県立陣馬自然公園センター	9 月 29 日 (木)	県 立 陣 馬 山 自 然 公 園 セ ン タ ー	秋山幸也
30	いのちを考える講座－東日本大震災の被災地から	大野中公民館	10 月 4 日 (火)	大 野 中 公 民 館	秋山幸也
31	河原の植物市民学習会	桂川・相模川流域協議会	10 月 6 日 (木)	神 川 橋 下 の 河 原	秋山幸也
32	「竹と農耕」	神奈川県立歴史博物館	10 月 8 日 (土)	県 立 歴 史 博 物 館	加藤隆志
33	「発展日本史」（養蚕農家の記録）	県立相模原総合高校	10 月 20 日 (土)	相 模 原 総 合 高 校	守屋博文
34	津久井中央公民館スターウォチング	津久井中央公民館	10 月 22 日 (土)	青 根 地 域 セ ン タ ー	有本雅之
35	地層についての学習	市立若松小学校	11 月 8 日 (火)	若 松 小 学 校	河尻清和
36	相中研理科部会	相中研理科部会	1 月 11 日 (金)	博物館	上原徹也
37	「植生から見る土地の歴史と環境」	市文化財保護課	11 月 12 日 (土)	田 名 向 原 遺 跡 旧 石 器 時 代 学 習 館	秋山幸也
38	新磯高齢者学級【ロマン講座】～見上げてごらん新磯の星を～	市立新磯公民館	11 月 17 日 (木)	新 磯 公 民 館	有本雅之
39	森－生きものの生息場	かしの木山自然公園	11 月 23 日 (水)	か し の 木 山 自 然 公 園	秋山幸也
40	勝坂遺跡公園自然観察会	文化財保護課	12 月 10 日 (土)	勝 坂 遺 跡 公 園	秋山幸也
41	津久井中央小学校出張観望会	津久井中央小学校	12 月 16 日 (金)	津 久 井 中 央 小 学 校	上原徹也
42	森づくりボランティア講座 冬芽をとおして森を見よう	財団法人相模原市みどりの協会	12 月 17 日 (土)	博物館	博物館

平成 23 年度相模原市立博物館年報

43	相小研社会科部会	相小研社会科部会	1 月 11 日 (水)	博物館	上原徹也
44	歴史講座「上溝の庶民の住まいと暮らしかた (昭和初期)」	市立上溝公民館	1 月 28 日 (土)	博物館	土井永好
45	野鳥観察法講座	県立津久井湖城山公園	1 月 28 日 (土)	県立津久井湖城山公園	秋山幸也
46	冬の星空観望会	東林地区青少年健全育成協議会	1 月 28 日 (土)	東林公民館	有本雅之
47	星空観測会	市立上鶴間公民館	1 月 29 日 (日)	上鶴間公民館	有本雅之
48	相模原における原始、古代のムラと生活	神奈川県建築士会	2 月 4 日 (土)	小田急相模原駅文化交流プラザ (おださがプラザ)	河本雅人
49	トコロジストのすすめ	城山エコミュージアム	2 月 5 日 (日)	相模川 (緑区小倉) ほか	秋山幸也
50	田名北小 P T A 成人委員会親子天体望遠鏡作り	田名北小 P T A	2 月 11 日 (土)	田名北小学校	上原徹也
51	相模原南ロータリークラブ例会	相模原南ロータリークラブ	2 月 14 日 (火)	伊勢丹相模原店	有本雅之
52	「第 158 回津久井の歴史こぼれ話を語る会」	城山地域史研究会	2 月 19 日 (日)	城山公民館	井上泰
53	星が丘公民館出張観望会	星が丘公民館	2 月 25 日 (土)	星が丘公民館、星が丘小学校	上原徹也
54	体験講座「化石 (岩石) 採集から同定まで」	市立上溝南中学校	3 月 1 日 (木)	相模川自然の村「ビレッジ若あゆ」	河尻清和
55	グリーンカレッジつくい「歴史講座」	津久井生涯学習センター	3 月 1 日～22 日 (毎週木曜日・計 4 回)	津久井生涯学習センター	井上泰
56	トコロジスト養成講座	横浜市環境創造局	3 月 17 日 (土)	横浜自然観察の森	秋山幸也

1 1 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内 容 博物館活動に市民が参加する機会として、参加者を募集。博物館の基礎的な研修を受講した後、企画展、学習資料展等の企画・準備と関連事業補助、クイズラリー運営、星空観望会補助等を実施した。

イ 登録者 30人

ウ 参加者 延べ 621人

(2) さがみはら水生動物調査会

ア 内 容 博物館で収蔵する水生動物の資料整理や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 15人

ウ 参加者 延べ 30人

(3) 相模原植物調査会

ア 内 容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。6月には東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市立博物館の植物標本の洗浄作業に従事した。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 41人

ウ 参加者 延べ 442人

(4) 相模原地質研究会

ア 内 容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともに行った。

イ 登録者 11人

ウ 参加者 延べ 99人

(5) 相模原縄文研究会

ア 内 容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、考古学講座の運営を博物館と協働で行った。

イ 登録者 10人

ウ 参加者 延べ 160人

(6) 民俗調査会A（19年度結成）

ア 内 容 「相模原民俗マップを作る」をテーマに、フィールドワークを行いながらマップ作りの準備作業を行った。

イ 登録者 20人（平成24年3月末現在）

ウ 参加者 延べ 164人（毎月一回実施しているフィールドワークの参加人数）

*なお、平成23年3月14日には、完成した新磯地区の散策マップを元に、一般市民を広報等で募集して調査会員が実際に案内する「民俗探訪会」を実施した。参加した一般市民は24名であった。

(7) 民俗調査会B（19年度結成）

ア 内 容 鎌倉道・甲州道中・八王子道・津久井道などをテーマに、フィールドワークを行った。

イ 登録者 30人（平成24年3月末現在）

ウ 参加者 延べ 329人（毎月一回実施しているフィールドワークに参加した人数）

(8) 鈴木重光資料整理 (22年度結成)

ア 内 容 津久井郷土資料館(当時)に保管されていた鈴木重光氏が寄贈された資料のうち、未整理のものについて目録化などの整理を行った。今後継続して作業を行い、収蔵展示なども行う予定である。

イ 登録者 13人(平成24年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 258人(月2回程度実施している作業に参加した人数)

(9) 相模原市立博物館天文クラブ (23年12月24日発足)

ア 内 容 相模原市立博物館と協働して、身近に起きる天文現象の記録化と資料を図り、資料の保存事業や展示等の教育普及事業に協力する活動を行う。

イ 登録者 11人(平成24年3月末現在)

ウ 参加者 延べ21人(1月～3月：天体写真撮影、作品展示作業)

IV 資料管理**1 博物館収蔵資料点数 (平成24年3月31日現在)**

博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	5,810	箱	5,810
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,906	点	41,813
	歴史資料	生活資料収蔵庫	1,303	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	9,437	点	
	古文書等市史資料	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,740	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・	21,419	点	28,861
	軍事資料	大型資料収蔵庫	1,565	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,877	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	189	点	3,542
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,138	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,352	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	538	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	37,813
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	37,567	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	140	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	61	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	5	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	45,924	点	45,930
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点	2,121
	購入資料	天文展示室	13	点	
二次資料	図書	市民研究室等	40,197	点	44,383
	ビデオ・CD-ROM, DVD ソフト	情報サービスコーナー	428	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,758	点	
合 計			210,273	点	

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品(文化国際課扱)

分 野	分 類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	1,706
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	1,255	点	

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考 古	考古資料	相模湖資料収蔵庫	219	箱	1,177
		津久井郷土資料室	354	箱	
		小原本陣・小原の郷	0	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴 史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,522
		尾崎罌堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	254	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
		吉野宿ふじや	669	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	津久井郷土資料室	14,503	点	17,217
		小原本陣・小原の郷	397	点	
		城山郷土資料保管庫	847	点	
		吉野宿ふじや	1,470	点	
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合 計			24,045	点	

2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈・寄託された歴史資料の点検整理、市域生活資料の収集及び資料カード作成、尾崎行雄(罌堂)関係資料の分類整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、自然観察会の歴史的資料の収集
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理

天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館より送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

年 3 回、受入れ資料を対象に洗浄乾燥室においてガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的な被覆くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

7 月～10 月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 79 件（平成 23 年度中に利用申請されたもの）

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
大正 14 年地形図 (1/25000 座間) 他	閲覧・複写	4 月 2 日	個人	課題研究
小山浩二氏寄託文書	閲覧・複写・撮 影	4 月 13 日	個人	調査研究
小山浩二氏寄託文書	閲覧・複写	4 月 16 日	個人	調査研究
大正 14 年地形図 (1/25000 八王子)	閲覧・複写	4 月 21 日	個人	調査研究
小山浩二氏寄託文書 他	閲覧・複写・撮 影	4 月 26 日	個人	調査研究
昭和 16 年・17 年撮 影航空写真	閲覧・複写	4 月 27 日	市文化財保護課	行政事務
篠崎道弘氏寄贈資料 他	複写・撮影	5 月 1 日	個人	調査研究
座間照義氏寄贈資料	閲覧	5 月 8 日	個人	調査研究
旧新磯村役場資料 他	閲覧・複写・撮 影	5 月 11 日	相武台のナベトロ遺 跡をたどる会	調査研究
大正 14 年地形図 (1/25000 上溝) 他	複写	5 月 11 日	市生涯学習課城山教 育班	行政事務

平成 23 年度相模原市立博物館年報

住居模型等（津久井郷土資料室展示資料）	撮影	5 月 15 日	個人	課題研究
昭和 3 9 年撮影航空写真	閲覧・複写	5 月 20 日	市資産税課	行政事務
大山柏著勝坂遺跡報告書	閲覧	5 月 28 日	個人	調査研究
写真等（津久井郷土資料室保管資料）	撮影	5 月 28 日	県立津久井養護学校	授業教材
旧相原村役場資料	閲覧・撮影	6 月 1 日	個人	調査研究
古淵 B 遺跡 報告書 他	館外貸出し・撮影	6 月 7 日	古淵自治会	刊行物掲載
上溝商店街パネル等（常設展示）	撮影	6 月 19 日	個人	調査研究
小型唐箕（小原宿本陣保管資料）	撮影	6 月 17 日	個人	調査研究
迅速図 原町田 他	閲覧・複写	6 月 23 日	個人	調査研究
大正 1 4 年地形図（1/25000 上溝） 他	閲覧	6 月 26 日	個人	調査研究
有色人工水晶 他	館外貸出し	7 月 7 日～ 9 月 10 日	福井市自然史博物館	展示資料
田名村絵図（複製品） 他	撮影	7 月 15 日	個人	課題研究
縄文土器	館外貸出し	7 月 20 日～ 8 月 5 日	県立相模原総合高校	講座教材
市史現代図録編掲載写真	その他（転載）	7 月 26 日	㈱有隣堂	刊行物掲載
迅速図（上溝 他）	模写	7 月 27 日	市生涯学習課城山教育班	調査研究
昭和 3 9 年～平成 5 年撮影航空写真	閲覧・複写	7 月 28 日	市資産税課	行政事務
昭和 2 2 年撮影航空写真	閲覧・撮影	7 月 30 日	個人	調査研究
昭和 2 9 年撮影航空写真	撮影	8 月 7 日	個人	調査研究
相模大野地区景観写真フィルム	館外貸出し	8 月 10 日～ 8 月 20 日	㈱プライムクロス	ホームページ上に公開
渋谷茂氏寄贈資料	閲覧	8 月 17 日	個人	調査研究
昭和 4 4 年・4 8 年撮影航空写真	閲覧	8 月 18 日	市開発調整課	行政事務
大正 1 0 年地形図（1/25000 原町田） 他	閲覧・複写	8 月 20 日	個人	課題研究
橋本遺跡第Ⅴ層文化層出土の石器	撮影・館外貸出し	8 月 26 日～ 12 月 16 日	岩宿博物館	展示資料・刊行物掲載
天野望氏寄託資料	閲覧・撮影	9 月 2 日	個人	調査研究

平成 23 年度相模原市立博物館年報

無量光寺寄託資料	館外貸出し（写真データ）	9月2日	武蔵野大学仏教文化研究所	刊行物掲載
久保田昌孝氏寄託資料	閲覧・複写	9月6日	個人	調査研究
大正10年地形図（1/25000上溝）他	複写	9月6日	三光ホーム(株)	社史編さん
旧上溝村役場資料 他	閲覧・複写	9月7日	個人	調査研究
旧大野村役場資料	閲覧・コピー	9月21日	個人	調査研究
唐箕	館外貸出し	9月21日～11月30日	市農政課	講座資料
相模原市史第1巻掲載資料	館外貸出し	9月22日～10月15日	(株)武蔵文化財研究所	図面作成
旧大野村役場資料	閲覧・撮影	10月5日	個人	調査研究
昭和31年撮影航空写真 他	閲覧・複写	10月12日	市学校施設課	行政事務
都会及び農村第4巻11号 他（津久井郷土資料室保管資料）	撮影	10月21日	個人	調査研究
田名向原遺跡の住居状況遺構	館外貸出し（写真データのみ）	10月21日～3月27日	春日部市文化財保護課	刊行物掲載
津久井郡城山の植物 他（津久井郷土資料室保管資料）	撮影	10月26日	個人	ホームページ上に公開
橋本遺跡出土品 等	館外貸出し	11月1日～11月6日	市文化財保護課	展示資料
水生昆虫パネル	館外貸出し	11月4日～11月6日	串川カップ隊	展示資料
少年倶楽部（大正期）表紙（津久井郷土資料室保管資料）	撮影	11月9日	株式会社エヌ・アンド・エス企画	刊行物掲載
旧麻溝村役場資料	閲覧・撮影	11月10日	個人	調査研究
勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土遺物写真	館外貸出し	11月17日	國學院大學考古学研究室	講演資料
田下駄 他（津久井郷土資料室保管資料）	撮影	11月20日	法政大学現代福祉学部	課題研究
小學國語讀本巻七 他	撮影	11月28日	個人	調査研究
昭和53年～55年撮影航空写真	閲覧・撮影	12月8日	市資産税課	行政事務
橋本村地引全図	館外貸出し	12月14日～12月15日	市橋本公民館	講座資料

平成 23 年度相模原市立博物館年報

田名向原遺跡第 2 次調査出土品	館外貸出し	12 月 15 日～ 12 月 28 日	市文化財保護課	展示資料
勝坂有鹿谷祭祀遺跡出土の祭祀遺物写真	掲載・館外貸出し	1 月 6 日	編集工房レイヴン	刊行物掲載
電気炊飯器 等	館外貸出し	1 月 8 日～ 2 月 5 日	市立若草小学校	授業教材
昭和 11 年～49 年撮影航空写真	閲覧・複写	1 月 9 日	個人	講座資料
下中丸遺跡出土蛇装飾付土器写真	館外貸出し（写真データのみ）	1 月 15 日～ 3 月 11 日	富士見市立水子貝塚資料館	展示資料・刊行物掲載
糸繭商道具一式	掲載・館外貸出し	1 月 24 日～ 4 月 28 日	横浜みなと博物館	展示資料・刊行物掲載
大正 10 年地形図（1/25000 原町田）	閲覧・複写	1 月 25 日	個人	調査研究
昭和 41 年地形図（1/25000 原町田）	閲覧	1 月 29 日	個人	調査研究
小川忠久氏寄託資料	閲覧・複写	1 月 31 日	個人	調査研究
糸車	館外貸出し	2 月 11 日～ 2 月 14 日	市立大野台小学校	授業教材
吉川央一氏寄託資料	閲覧・複写	2 月 16 日	個人	調査研究
峯尾実氏寄贈資料	館外貸出し（写真データ）	2 月 22 日	堺市文化課	展示資料
鈴木健司氏寄託資料	閲覧・複写	2 月 25 日	個人	調査研究
田名丸山遺跡出土品	館外貸出し	3 月 8 日～ 5 月 18 日	市文化財保護課	展示資料
戦役記念図書台帳	閲覧・撮影	3 月 10 日	個人	調査研究
清水昭善氏寄託資料	閲覧・複写	3 月 15 日	個人	調査研究
小原宿絵図 他	閲覧・撮影	3 月 15 日	小原宿活性化推進会議・里の案内人の会	資料調査
相模陸軍造兵廠敷地配置図	複写	3 月 16 日	個人	調査研究
白図（1/3000） 上溝	閲覧	3 月 28 日	個人	調査研究
大正 10 年地形図（1/25000 上溝他）	閲覧	3 月 28 日	個人	調査研究
市史現代図録編 他	閲覧・複写	3 月 28 日	個人	調査研究
昭和 31 年撮影航空写真 他	閲覧・撮影	3 月 28 日	個人	調査研究
小山浩二氏寄託資料	閲覧・複写	3 月 29 日	個人	調査研究
小山浩二氏寄託資料	閲覧・複写	3 月 30 日	個人	調査研究

V 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 河本 雅人	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	市内の祭礼・行事の調査をして、ホームページ上の「博物館の窓」の「民俗の窓」において随時掲載した。
歴史資料の調査 土井 永好	市域の近・現代生活資料等を整理・分類し、一部を学習資料展に反映させた。長野県軽井沢町に残る尾崎行雄関係の未出資料を把握し、所蔵者協力のもと継続的な目録化調査に着手した。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市周辺の付加体、南部フォッサマグナ、中津層群、関東ローム層等を調査した。調査結果の一部はホームページの「博物館の窓」において掲載した。中津層群のチャート礫について日本地質学会第 118 年学術大会において発表し、研究報告書に掲載した。
天文資料の調査 杉本 芳秋 上原 徹也 有本 雅之	プラネタリウム学習投影教材のデジタル化(プロジェクターの活用)

※検討会委員等の派遣

神奈川県生物多様性保全検討委員会 秋山幸也

神奈川県水源河川県民調査アドバイザー 秋山幸也

県立津久井湖城山公園自然に関する連絡会委員 秋山幸也

VI 市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 21 年 7 月 31 日～平成 23 年 7 月 30 日（*平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

氏 名	備 考	選出区分
岩 橋 清 美	東京都公文書館職員	学識経験者
金 子 信 男	公募委員	公募委員
高 橋 順 一	桜美林大学教授 副会長	学識経験者
中 村 洋 子	大野南公民館長	学識経験者
樋 口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	学識経験者
藤 川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
保屋野 洪 子	公募委員	公募委員
山 下 義 幸	元明治大学教授 会長	学識経験者
大 塚 喜 一	元津久井町教育委員会教育委員長（*）	学識経験者
奈 良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長（*）	学識経験者

平成 23 年 7 月 31 日～平成 25 年 7 月 30 日（*平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 7 月 30 日）

氏 名	備 考	選出区分
梅 田 和 治	公募委員	公募委員
大 塚 喜 一	元津久井町教育委員会教育委員長（*）	学識経験者
篠 崎 好 男	公募委員	公募委員
高 村 敦 子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
中 村 洋 子	大野南公民館長 副会長	学識経験者
長 澤 敬 子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
奈 良 雅 之	元相模湖町立北相中学校長（*）	学識経験者
樋 口 雄 一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤 川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
矢 野 英 明	帝京大学教職大学院客員准教授	学識経験者

ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 23 日（火）	（1）会長及び副会長の選出、（2）平成 22 年度市史・町史編さん事業の状況、（3）平成 23 年度市史・町史編さん事業について、（4）相模原市史現代通史編・津久井町史資料編近世 2 について
2	3 月 22 日（木）	（1）平成 23 年度市史・町史編さん事業について、（2）相模原市史考古編について、（3）津久井町史付帯刊行物について、（4）津久井町史編さん基本方針の変更について

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	9 月 1 日 (木)	(1) 平成 22 年度及び平成 23 年度市史編さん事業実施状況、(2) 相模原市史現代通史編について
2	3 月 11 日 (日)	(1) 平成 23 年度市史編さん事業の実施状況、(2) 相模原市史考古編について

(3) 各専門部会の活動状況

① 近現代部会

ア 部会の開催 (現代テーマ編に向けたテーマの絞込み・検討)

8 回 (5 月 7 日、7 月 2 日、8 月 20 日、9 月 10 日、11 月 19 日、
12 月 17 日、2 月 4 日)

イ 津久井巡検の実施 3 月 17 日 (土)

② 考古部会

ア 部会の開催 (考古編の内容検討)

3 回 (6 月 26 日、12 月 25 日、1 月 30 日)

イ 『相模原市史考古編』の刊行 A4 判、589 ページ、1500 部

③ 文化遺産部会

ア 巡検の開催 2 回 (6 月 21 日、6 月 29 日)

イ 社寺調査 4 回 (10 月 7 日、11 月 25 日、11 月 30 日、3 月 1 日)

事前調査 71 社寺終了 (20 年 8 月 6 日開始)

予備調査 25 寺終了 (20 年 8 月 26 日開始)

ウ 絵馬 (奉納額) 調査の実施 2 回 (4 月 21 日、6 月 16 日)

エ 土木遺産の調査 1 回 (1 月 25 日)

(4) 普及事業

ア 『相模原市史ノート』第 9 号の発行 A5 判、107 ページ、700 部

イ 市史講演会の開催

実施日 7 月 9 日 (土) 参加者総数 102 人

演題・講師 「日本歴史の中の相模原—津久井地域 (3)—」
神崎彰利 (市史編さん特別顧問)

実施日 9 月 24 日 (土) 参加者総数 111 人

演題・講師 「相模原の占領と米軍基地の成り立ち」
羽田博昭 (現代通史編調査執筆員)

実施日 3 月 24 日 (土) 参加者総数 82 人

演題・講師 「日本歴史の中の相模原—津久井地域 (4)—」
神崎彰利 (市史編さん特別顧問)

ウ 市史刊行物の販売 (相模原市史及び旧津久井 4 町の刊行物)

各行政資料コーナー、博物館で販売

相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施 (平成 20 年 4 月～)

2 津久井町史

(1) 町史編集委員会

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期 2 年、委員 15 人。なお、委員会は、平成 20 年 8 月の要綱改正により、必要に応じて編集委員長が招集し、部会及び特別部会ごとに開催する。

(2) 各専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された原始・古代、近世、近代・現代、自然の各部会及び合同部会長会議を開催し、刊行物の方針・構成等の検討や刊行に向けた執筆・準備作業を行った。

① 原始・古代部会

ア 部会の開催（通史編 1 の刊行に向けたスケジュールや構成・執筆者の検討など）
2 回（8 月 13 日、11 月 5 日）

イ 調査の実施

- ・旧津久井町内巡検 1 回（12 月 10 日）
- ・考古資料調査 現地踏査や遺物確認等の調査を 1 月から随時実施

② 中世部会

ア 調査の実施

- ・中世資料調査 中世文書や棟札等の調査を 2 月から随時実施

③ 近世部会

ア 部会の開催（通史編 2 の方針・構成やスケジュール、新規執筆者の検討など）
3 回（9 月 24 日、11 月 25 日、3 月 7 日）

イ 調査の実施

- ・近世資料調査 個人所蔵資料の所在確認調査を 11 月 16 日及び 2 月から随時実施

④ 近代・現代部会

ア 部会の開催（通史編 2 の方針・構成やスケジュール、新規執筆者の検討など）
2 回（10 月 25 日、2 月 23 日）

イ 分科会の開催（通史編の構成等について時代別に検討）

- ・近代分科会 1 回（3 月 23 日）

ウ 調査の実施

- ・近代・現代資料調査 個人所蔵資料の確認・筆耕等の調査を 4 月から随時実施

エ 資料目録の刊行

- ・『津久井町史資料目録 公文書 2』 A4 判、237 ページ、500 部

⑤ 自然部会

ア 部会の開催（自然編執筆状況及び内容確認など）

2 回（7 月 26 日、3 月 23 日）

イ 分野別会議の開催（自然編執筆内容を分野別に確認）

- ・地質分野 1 回（10 月 27 日）
- ・動物分野 1 回（10 月 27 日）
- ・植物分野 2 回（10 月 21 日、1 月 20 日）
- ・昆虫分野 2 回（10 月 26 日、1 月 26 日）

ウ 調査の実施

- ・地質分野調査 旧町内各地において、地質や景観の写真撮影を 12 月から随時

実施

エ 調査報告書の刊行

- ・『津久井町の昆虫Ⅲ』 冊子版 A4判、157頁、300部
CD版も併せて作成
- ・『津久井町の植物』 冊子版 A4判、92頁、300部
CD版も併せて作成

⑥ 合同部会長会議

- ア 会議の開催（基本方針の修正について、刊行物・通史編準備状況の報告など）
1回（3月7日）

（3）津久井町史懇話会

ア 趣旨及び委員構成

津久井町史編さん基本方針に定められた刊行物の企画等に対する助言及び資料に関する情報提供などを行う組織。任期2年、委員7名、年2回開催。元津久井町史編さん委員会委員を中心に組織（23年度末で設置要綱廃止）。

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	9月 8日（木）	津久井町の水車についての情報交換
2	3月27日（火）	津久井町の昔の自然についての情報交換

（4）普及事業

- ア 『ふるさと津久井』第5号の発行 A5判、114ページ、700部
- イ 町史刊行物の販売（相模原市及び旧津久井4町の刊行物を含む）
各行政資料コーナー、博物館で販売
相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成20年4月～）

Ⅶ 博物館関連施設

1 尾崎罌堂記念館（緑区又野）



尾崎罌堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（罌堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に建設された。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

（1）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 50 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区の故上木長氏の所有のものを、罌堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に建てられた。

（2）罌堂桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りした染井吉野など 4 品種の桜苗木を『罌堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本を記念館の庭に植樹した。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の 10 番目の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、信州諏訪藩、高遠藩、飯田藩、高島藩などの参勤交代の常宿

として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていましたが、明治 29 年の大火で焼失し、現在の建物は明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

(1) 施設概要

ア 延べ床面積	284.56㎡
イ 建物構造	木造2階建て 切妻造 平入の町屋建築
ウ 入館料	無料

3 津久井郷土資料室（緑区中野）



明治 35 年に第 1 号が発刊されてから昭和にかけての「少年倶楽部」「幼年倶楽部」「少女倶楽部」「婦人倶楽部」「少年世界」「少女世界」「婦人世界」「キング」、明治に発行された講談本・日本のお伽噺・世界お伽噺など貴重な資料を所蔵している。

また、神奈川県下市町村が発行した自治体史の資料も数所蔵している。

(1) 江戸時代の教科書

江戸時代の寺子屋で使っていた和綴じ古文書（女大学、日本地志など）、江戸、明治、大正、昭和（戦前、戦中、戦後）にかけての貴重な教科書が収蔵されています。

(2) むかしの農機具や生活用具

大きな鋸、箱ゼン（食事に使用）、薬箱、薬調合器、織機、消防器具、農機具などを見ることができます。

4 入館者数一覧

(1) 尾崎弔堂記念館

	利用人数（人）	開館日数（日）	1日平均（人）
21年度	1,162	298	3.9
22年度	1,364	295	4.6
23年度	1,674	295	5.6
合 計	4,200	888	4.7

(2) 津久井郷土資料室

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
21年度	638	291	2.2
22年度	748	290	2.6
23年度	562	292	1.9
合 計	1,948	873	2.2

(3) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
21年度	1,938	307	6.3
22年度	1,874	304	6.2
23年度	1,847	308	6.0
合 計	5,659	919	6.2

平成 23 年度相模原市立博物館 年報	
発行日	平成 24 年 4 月 1 日
	相模原市立博物館
住所	〒252-0221 相模原市中央区高根 3-1-15
TEL	042-750-8030
FAX	042-750-8061
e-mail	hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
URL	http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm